

【第11回日本運動器疼痛学会 開催のご案内】

開催テーマ：新時代への挑戦 — 日本人にあった専門性の融合と共有 —

会長：福井 聖（滋賀医科大学医学部附属病院 ペインクリニック科病院教授）

会期：2018年12月1日（土）・2日（日）

会場：びわ湖ホール・ピアザ淡海（滋賀県立県民センター）

大会HP：<http://www2.convention.co.jp/jamp11/>

大会ホームページはこちら



http://www2.convention.co.jp/jamp11/

整形外科、麻酔科・ペインクリニック、リハビリテーション、心療内科、神経内科、精神科、臨床心理等、多職種で多面的に痛みを考える会です。ぜひ皆様のご参加をお待ちしております。

詳しくは大会HPをご覧ください。

【プログラム一部抜粋】

2018年12月1日（土）

会長講演「新時代への挑戦：医療、経済、社会政策としての運動器慢性疼痛対策」

演者 福井 聖（滋賀医科大学医学部附属病院 ペインクリニック科）

基調講演「これからの疼痛治療 —All Japan で未来に向かう—

演者：細川 豊史（洛和会 丸太町病院）

特別講演1「IoTが拓くヘルスケアの近未来～慢性疼痛管理の可能性～」

演者 山本 義春（東京大学大学院教育学研究科）

ランチョンセミナー1「脳神経疾患における疼痛の理解と治療」**日整会単位取得対象講演**

演者 漆谷 真（滋賀医科大学 内科学講座 脳神経内科）

ランチョンセミナー2「疼痛治療における薬物療法の位置付けを再確認しよう！～ガイドライン・医療安全から～」**日整会単位取得対象講演**

演者 井関 雅子（順天堂大学医学部 麻酔科学・ペインクリニック講座）

ランチョンセミナー3「がん口コモを考える -がん時代の整形外科-」**日整会単位取得対象講演**

演者 河野 博隆（帝京大学医学部 整形外科科学講座）

最先端レクチャー「先端技術で いたみ を魅せる（見せる）！」

演者：川端 茂徳、泉 仁、寶珠山 稔、山部 英行、及川 泰宏、西村 行秀

シンポジウム1「運動器疼痛から、がん性疼痛まで」

演者：川崎 元敬、平林 万紀彦、葛巻 直子、安部 能成、渡邊 恵介

特別講演2「痛みの臨床に活かす解決志向ブリーフセラピー」

演者 岡 留美子（岡クリニック 精神科）

シンポジウム2「慢性疼痛の診療に関わる医療者育成の展望」

演者：荒木 裕人、中村 喜美子、杉浦 健之、鈴木 秀典、島岡 要

イブニングセミナー 最新の痛みに対するインターベンショナル治療 **日整会単位取得対象講演**

演者 安部 洋一郎 (NTT東日本関東病院 ペインクリニック科)

2018年12月2日(日)

シンポジウム3「こうすれば解決!? コモンディジーズ」

演者: 下村 和範、池本 竜則、今井 晋二、園畑 素樹、中塚 映政

モーニングセミナー1 **日整会単位取得対象講演**

演者 運動器慢性疼痛に対するパルス高周波治療と高周波熱凝固法—脊椎レベルの活用法—
伊達 久 (仙台ペインクリニック)

運動器疼痛における末梢神経への高周波・パルス高周波療法の可能性

吉村 文貴 (岐阜大学大学院医学系研究科 麻酔・疼痛制御学分野)

モーニングセミナー2 フレイルと人参養栄場—健康長寿に向けて— **日整会単位取得対象講演**

座長 麻生 伸一 (あそうクリニック)

演者 乾 明夫 (鹿児島大学大学院 医歯学総合研究科 漢方薬理学講座)

ランチョンセミナー4 脊椎疾患に伴う神経障害性疼痛

～病態・評価・倫理面から治療を考える～ **日整会単位取得対象講演**

演者 関口 美穂 (福島県立医科大学 医学部附属実験動物研究施設)

ランチョンセミナー5「慢性疼痛に対する薬物治療戦略～アセトアミノフェンの位置づけを考える～」

日整会単位取得対象講演

演者 上野 博司 (京都府立医科大学 疼痛・緩和医療学教室)

ランチョンセミナー6

骨粗鬆症と慢性疼痛～超高齢社会におけるあらたな運動器疼痛 Osteoporosis and locomotive pain

日整会単位取得対象講演

演者 折田 純久 (千葉大学大学院医学研究院 先端脊椎関節機能再建医学講座)

シンポジウム4「新時代への挑戦：日本人にあったチーム医療、集学的治療」

基調講演：松見 淳子、三木 健司

演者：笹良 剛史、岩崎 稔、園田 悠馬、佐藤 今子

【大会事務局】

滋賀医科大学医学部附属病院 ペインクリニック科

〒520-2192 滋賀県大津市瀬田月輪町

TEL：080-9473-5828 (担当：塚本)

E-mail：jamp11@belle.shiga-med.ac.jp